



B

所で婦人を政治に参加させると家庭から飛び出して政治運動をするやうになりはしないかと心配する人があります。これは日本ばかりでなく外國でも婦人に參政権を與へる前にはよく言はれた事で奥さんが外で演説をしてゐると、家では赤ん坊がお乳を欲しがつて泣いてゐる御主人がエプロンを掛けて臺所をしてゐるといつた漫畫がよく新聞雜誌等に出たものでした。然しよく考へてみますと衆議院議員の選舉にしても府縣市町村會議員の選舉にしても、四年に一回づゝ行はれるだけです、二三時間もあれば十分投票に行かれます。それも赤ん坊を背負つて行つても好いし買物の序に一寸立寄つても好い譯です。尤も婦人で議員になる人或は町村長の名譽職になる人もありませうが、これは婦人全體から云へば極く少數でありますから、一般の婦人に取つては、政治に參與すると云ふことは、選舉の際一票を投ずる事だと云つても差支はありません。

たつた一票と云へば一票でありますが然しこの一票を持つてこそ女も始めて男子と同様に一人前の國民として認められる事になります。その上此の一票が欲しい爲めに、政府や政黨及議員は、厭々乍らも婦人の望む政策を取り上げこれが實現に努力するやうになります。前に述べた町の芥や下水等の施設も良くなるし、藝者屋等も漸次なくなります、又婦人や子供に不利益な法律も改正され、婦人や子供を保護する母子扶助法と云つた法律も新らしく制定され易くなります。

それに婦人は所謂手腕家と云ふものよりも人格者を好みますから、妾のある人疑獄に關係した人達の當選が六ヶ敷くなり自然議員の質が向上するし、政治の淨化、選舉の革正が行は